

子供と青年 - HIV 薬、パート 9



子供が HIV に感染する原因で最も多いのは、妊娠中に母親から胎児へ感染する経路が挙げられます。青年の多くは性行為で HIV に感染します。

抗レトロウイルス療法または ART と呼ばれる HIV 療法は、HIV 投薬計画に従って複数の HIV 薬を服用する療法です。ART は子供や青年を含め、HIV 感染者全員に推奨されています。

多くの要因を考慮して、ART の開始時期、服用する HIV 薬を決定します。成長と発達が子供や青年の HIV 治療に影響を与えます。

なぜなら、HIV に感染している子供や青年は成長過程にあり、HIV 薬の用量は年齢で決めることができないからです。年齢の代わりに、体重や成長段階をもとに最適な HIV 薬の用量を決定します。

服用する HIV 薬の種類は、子供の年齢によります。たとえば、HIV 薬の中には幼児や幼い子供が摂取しやすい液体状のものもあります。

服薬アドヒアランスとは、確実に処方箋に従って HIV 薬を毎日服用することを指します。HIV 治療の効果を得るには、服薬アドヒアランスが大切になります。多くの要因により、HIV に感染している子供や青年のアドヒアランスは困難になります。たとえば、子供は美味しくないという理由から HIV 薬を拒絶することもあります。

HIV に感染している青年では特に、羞恥心がアドヒアランスを困難にします。HIV 陽性であることを人に知られたくないあまり、薬の服用をしない場合も見られます。

次の要因も服薬アドヒアランスに影響を与えます。

- 多くの種類の薬を使用する HIV 投薬計画
- 予定を入れすぎると、毎日決まった時間に HIV 薬を服用することが難しくなります
- 精神病またはアルコールや薬物の乱用
- HIV 薬をカバーできる健康保険に加入していない



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。